

2022年度EMCA通常総会（研修会）

日時 2023年6月10日（土）10時00分～16時00分
場所 コンフォート新宿（会場参加&オンライン参加）

～次 第～

【第1部】総会（10:00～12:10）

1. 開会の辞・理事長あいさつ
2. 議題（議決事項）
 - 第1号議案 2022年度 事業報告及び決算報告
 - 第2号議案 2023年度 事業計画及び予算
 - 第3号議案 定款一部変更の件
3. EMCA活動コンテスト表彰
4. 事務局からの連絡事項〈研修会のご案内〉
5. 閉会の辞

【第2部】研修会&全国支部会報告（13:20～16:00）

1. EMCA総会研修
研修「ブリーフセラピーの魅力とその実際」
講師 生田 倫子 先生
2. 全国支部会報告
関東支部、東京支部、西日本・神奈川支部
より報告

2022年度 事業報告

特定非営利活動法人EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

1 事業の成果

創設10年目を迎え、eMC資格認定試験を東京、愛知(名古屋)、宮城(仙台)、大阪で実施。2次試験は実技の総合力を図るため論述試験を引き続き実施した。教育事業についてはEMCAアカデミーとして各種研修やカウンセリングの実践機会など継続的な学習機会を設け、会員のスキルアップに向けた施策を実施した。EAP従業員支援プログラムの普及及び支援事業については、会員の日頃の活動の成果を発表する機会やキャリアとメンタルの融合を目指すキャリア部会の展開などを実施した。また2期目を迎えた全国支部会の活動支援も実施した。情報提供事業については協会機関誌の発行の他、引き続き協会ホームページを活用した情報発信を進めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
資格認定試験事業	EAPメンタルヘルスカウンセラーの技術レベルを認定する資格試験の実施	年2回 計15日間	東京 名古屋 大阪 仙台	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	8,566
EAPメンタルヘルス教育事業	EAPメンタルヘルスカウンセラー養成のためのカリキュラム開発及びその教育事業	通年	法人事務所	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	12,644
従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入事業	企業、自治体等への従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入支援事業	通年	法人事務所	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	0
情報提供事業	協会ホームページの制作を通して、法人の活動状況やEAPに関する情報発信を実施	通年	法人事務所	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	0

(2) その他の事業

実施なし

【事業実施期間】

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

【会員数】※2023年3月31日現在

	会員数	(2022年度新規)
□個人正会員	1,000名	114名
□法人正会員	3法人 ※株式会社日本ライセンスバンク様 ※株式会社リカレント様 ※一般社団法人中小企業EAP普及推進協議会様	増減なし
□法人賛助会員	2法人 ※医療法人社団學風会様 ※特定非営利活動法人日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン様	増減なし
eMCカリキュラム認定機関	リカレントメンタルヘルススクール様	増減なし
※キャリア会員	2,095名	—

【事業の活動内容等】

(1) 資格認定試験事業

EAPメンタルヘルスカウンセラー（eMC）資格認定試験を2回実施しました。

第19回

実施日時：論述試験2022年7月24日、面接試験8月20,21,24,27,28日,9月4日

実施場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り/PREMIUM新大阪/渋谷東口駅前、オフィスパーク名駅カンファレンスセンター、仙都会館(貸会場による運営)

受験者数：125名

合格者数：92名（合格率73.6%）

第20回

実施日時：論述試験2023年1月22日、面接試験2月18,19,22,25,26日,3月4,5日

実施場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り/大阪梅田/渋谷東口駅前/PREMIUM新大阪、オフィスパーク名駅カンファレンスセンター、仙都会館(貸会場による運営)

受験者数：197名

合格者数：168名（合格率85.3%）

※累計合格者数 1,531名

(2) EAPメンタルヘルス教育事業

1) EMCAアカデミー(研修)

eMCのスキル養成を目的とした講座(研修)を実施いたしました。のべ参加人数は672名

2022年4月23日	倫理研修 I (ZOOM)	104名
2022年10月15日	倫理研修 I (ZOOM)	48名
2022年	倫理研修 II (映像版)	140名
2022年7月16日・30日	システムズ・アプローチ講座(ZOOM)	24名
2022年8月20日・9月3日	システムズ・アプローチ講座	15名
2022年10月22日・11月5日	システムズ・アプローチ講座	11名
2022年10月30日・11月6日	システムズ・アプローチ講座	12名
2023年1月14日・1月28日	システムズ・アプローチ講座	13名
2022年4月23日・30日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座	13名
2022年6月4日・18日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座	15名
2022年9月3日・9月10日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座	13名
2022年10月15日・10月22日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座 (ZOOM)	22名
2022年12月24日・2023年1月14日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座 (ZOOM+来校)	10名
2023年1月13日・16日・19日・31日・2月13日・17日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座 (ZOOM)	13名
2023年3月11日・21日	共通要因アプローチ・カウンセリング講座 (ZOOM+来校)	11名
2022年8月25日～9月29日(全6回)	認知行動療法-CBTのアセスメント・技法を学び実践に活用する(ZOOM)	21名
2022年11月17日～12月22日(全6回)	認知行動療法-CBTのアセスメント・技法を学び実践に活用する(ZOOM)	19名
2023年3月2日～4月6日(全6回)	認知行動療法-CBTのアセスメント・技法を学び実践に活用する(ZOOM)	11名
2022年4月2日・16日	対人関係療法(IPT)に基づいたカウンセリング技法(ZOOM)	15名
2022年8月20日・27日	対人関係療法(IPT)に基づいたカウンセリング技法	11名
2022年2月24日～3月6日(全6回)	対人関係療法(IPT)に基づいたカウンセリング技法(ZOOM)	12名
2022年6月4日・5日	クライシス・カウンセリング講座(ZOOM)	12名
2023年3月19日・26日	クライシス・カウンセリング講座(パイロット)	12名
2022年3月26日・4月2日・9日	交流分析基礎講座(ZOOM)	24名
2022年5月19日・26日・6月2日	交流分析基礎講座(ZOOM)	7名
2022年7月16日・23日・30日	交流分析基礎講座(ZOOM)	9名
2022年12月3日・17日	交流分析基礎講座	16名
2023年3月4日・18日・25日	交流分析基礎講座(ZOOM)	18名
実習プログラム導入研修	N-FITキャリアカレッジ日本橋	11名参加(前年9名)
実習プログラム導入研修	八幡メンタルクリニック	10名参加(前年15名)

2) EMCAアカデミー（実習）

eMCの実践機会増を目的としたカウンセリング・プラクティカムを実施いたしました。

※2023年度に実施期間がまたがるものは次年度に持ち越し

- ・インターン生：実施89名（※前年68名）
 - ・CL数：89名（※前年69名）
 - ・のべカウンセリング回数：インターン生によるカウンセリング267回（※前年207回）
 - ・スーパービジョン回数：89回（インターク+終結を1回とカウント）、のべ178名参加、聴講78名（※前年137名、聴講98名）
- ※前年までの名古屋地区現地実施はオンラインに統合

3) スキルアップ研修

カウンセラーとしてのスキルアップを目的とした講座（研修）を実施いたしました。

- ・のべ参加人数：194名（昨年315名）

「EAP講師の笹川先生&鈴木先生の現場で実際に対応した「なま」の事例を通して学ぶワークショップ」「カウンセリング体験講座」「人事労務担当者や1人でも部下を持つ人のメンタルヘルスマネジメントと1on1面談のポイント」「トラウマインフォームドケア（TIC）の理解と実践」「クライアント理解のための精神分析の考え方」「フロイト・ユング・アドラーの名言でカウンセリング名人を目指すセミナー」等

（3）従業員支援プログラム（EAP）の普及、導入支援事業

本事業については、企業（事業所）を対象にした活動が中心となり、メンタルヘルス対策に課題を持つ担当者に向けて必要な情報提供をするとともに、EMCA活動趣旨を周知、ご理解いただき、EMCAの会員加入を含めた関係構築をいたしました。結果、3法人の会員継続を実施することができました。

1) EMCA活動コンテスト2022 ・受賞4名

2) オフィシャル研修プログラム ・受賞1名

3) EMCAキャリア部会関連

- ・国家資格キャリアコンサルタント試験合格者向けセミナー 3回実施
- ・企業のゲストセミナー（2022年8月26日「ウエルビー株式会社」）
- ・企業のゲストセミナー（2022年12月16日「オリンパス株式会社」）
- ・企業のゲストセミナー（2023年3月24日「株式会社BANSO-CO」）
- ・領域別勉強会&情報交換会 1回実施（企業領域）

（4）情報提供事業

1) EMCA機関誌（Cor-こる-）2022年7月（NO.16）、11月（NO.17）、2023年3月（NO.18 発刊は4月）。協会ホームページにて、最新情報や活動実績などを随時更新の上、情報発信いたしました。

以上

2022年度 活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会
(単位:円)

科目	金額	
一般正味財産増減の部		
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取入会金	915,000	
正会員受取年会費	5,897,000	6,812,000
2 受取寄付金等		
受取寄付金振替額(指定正味財産からの振替)	2,877,360	
支部設立金・支部運営金*	413,000	3,290,360
3 事業収益		
受験料収入	8,566,250	
受講料収入	12,126,820	
カウンセリング収入	518,100	21,211,170
4 その他収益		
雑収入(名刺作成サービス代等)	96,800	
受取利息(普通預金利息)	355	97,155
経常収益計		31,410,685
II 経常費用		
1 事業費		
資格認定試験費(会場費用、運営スタッフ費用等)	8,130,510	
講師料(セミナー講師料、カウンセラー費用)	4,006,052	
会員管理業務費(総会費用等)	756,169	
研修事業費(会場費用等)	2,374,214	
会報誌費用(原稿制作費用、印刷代)	982,459	
受講料充当額(受取寄付金取り崩し)	2,877,360	
システム開発費用	421,267	
支部設立基金*	0	
支部運営費(826名×500円)*	413,000	19,961,031
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
給料手当(スタッフ給与)	6,962,734	6,962,734
人件費計		
(2)その他経費		
採用費	148,500	
印刷製本費(協会パンフレット、封筒等)	31,549	
旅費交通費(スタッフ通勤費用、移動交通費)	258,704	
広告宣伝費(広報活動、企画費用)	85,060	
消耗品費(事務用品購入)	81,706	
諸会費(国際EAP協会、新宿NPOネットワーク協議会)	36,000	
支払手数料(ドメイン管理料、振込手数料等)	276,502	
通信費(切手代等)	7,968	
雑費	22,483	
租税公課(預金利息に対する所得税等)	553	
その他経費計		949,025
経常費用計		27,872,790
当期一般正味財産増減額		3,537,895
前期繰越一般正味財産増減額		23,968,747
次期繰越一般正味財産増減額		27,506,642
指定正味財産増減の部		
I 受取寄付金		0
II 一般正味財産への振替額		2,877,360
当期指定正味財産増減額		-2,877,360
前期繰越指定正味財産増減額		7,127,440
次期繰越指定正味財産増減額		4,250,080
当期正味財産増減額		660,535
前期繰越正味財産額		31,096,187
次期繰越正味財産額		31,756,722

2022年度 財産目録

2023年 3月31日現在

特定非営利活動法人

EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	144,835	
普通預金	36,938,598	
流動資産合計		37,083,433
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産計		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		37,083,433
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	5,188,251	
預り金	138,460	
流動負債合計		5,326,711
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		5,326,711
正味財産		31,756,722

監査報告書

2023年 5月 29日

特定非営利活動法人
EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

理事長 松田 直之 殿

特定非営利活動法人
EAPメンタルヘルスカウンセリング協会
監事 杉尾 哲也



2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における会計および業務の監査の結果について次のとおり報告致します。

監査意見

- 1 貸借対照表、収支計算書等、会計帳簿の記載と一致し、特定非営利活動法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- 3 理事の職務執行に関する不正の行為または法令、定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

2023年度 事業計画

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

1 事業実施の方針

創設11年目を迎え、eMC資格認定試験は引き続き東京、愛知(名古屋)、宮城(仙台)、大阪で実施予定。より質の高いカウンセラー養成を目指し、第21回試験より1次(学科)試験を導入する。教育事業についてはEMCAアカデミーにて引き続き各種研修やカウンセリングの実践機会と共に継続的な学習機会を設けるなど、会員のスキルアップに向けた施策を実施する予定。また、EAP従業員支援プログラムの普及及び支援事業については、企業内メンタルヘルス部門やキャリア部門など最前線にて支援する方々との連携も含め展開を予定し、全国支部会の支援も継続する。情報提供事業については引き続き協会機関誌の発行や協会ホームページを活用した情報発信を進めてゆくとともに、10周年を記念し、協会や会員の活動をまとめた「eMC100人の物語」を発表する予定である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
資格認定試験事業	EAPメンタルヘルスカウンセラーの技術レベルを認定する資格試験の実施	年2回	東京 名古屋 大阪 仙台	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	7,782
EAPメンタルヘルス教育事業	EAPメンタルヘルスカウンセラー養成のためのカリキュラム開発及びその教育事業	通年	法人事務所	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	13,150
従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入事業	企業、自治体等への従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入支援事業	通年	法人事務所	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	0
情報提供事業	協会ホームページの制作を通して、法人の活動状況やEAPに関する情報発信を実施	通年	法人事務所	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般(不特定多数)	0

(補足)

2023年度eMC資格認定試験

第21回1次(学科)6/25・2次(実技)8/19~9/3、第22回1次(学科)12/24・2次(実技)2/17~3/3

□2023年度の主な事業計画について

■EMCAアカデミー

＜内容＞

EAPカウンセラーとしての専門性の向上のためのトレーニングプログラムの実施。

2023年度は倫理研修・システムズアプローチ・CBT・IPT・共通要因アプローチ・クライシスカウンセリング・交流分析基礎講座など実施予定。また、遠隔地の会員様向けにオンラインでの講座も積極的に実施する。

収支予測	＜収入＞	受講料	14,000千円
	＜支出＞	会場費、教材費、人件費、運営費、受講料支援等	11,500千円
	＜収支＞		2,500千円

■オンラインカウンセラーの育成

＜内容＞

社会のニーズの高まりを背景に遠隔心理援助の重要なツールであるオンラインカウンセリングに必要な知識とカウンセリング技術を習得するためのプログラムを提供。オンラインカウンセラーの育成に繋げる。

収支予測	＜収入＞	受講料	600千円
	＜支出＞	会場費、教材費、人件費、運営費、受講料支援等	500千円
	＜収支＞		100千円

■キャリア部会

＜内容＞

EMCAのキャリア会員向けの支援スキル拡張をねらいとし、各種のトレーニングプログラム、領域別勉強会、情報交換会並びに領域を超えた事例検討会を実施する。また、支援に資するネットワーク構築のためのEAPメンタルヘルスカウンセラーとキャリア会員の交流の場を提供していく予定。

収支予測	＜収入＞	受講料	300千円
	＜支出＞	会場費、教材費、人件費、運営費等	300千円
	＜収支＞		0千円

- 官公庁入札資格を取得。NPOとして参加すべき案件があれば、今後、入札していく。
(今年度は予算計上していません)

2023年度 活動予算

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

(単位:円)

科目	金額		
一般正味財産増減の部			
I 経常収益			
1 受取会費 *1			
受取入会金	950,000		
正会員受取会費	7,230,000	8,180,000	
2 受取寄付金等			
受取寄付金(指定正味財産からの振替)	3,500,000		
支部設立金・支部運営金 *2	787,500	4,287,500	
3 事業収益			
受験料収入 *3	7,782,500		
受講料収入	12,600,000		
カウンセリング収入	550,000	20,932,500	
4 その他収益			
雑収入	100,000		
受取利息	360	100,360	
経常収益計			33,500,360
II 経常費用			
1 事業費			
資格認定試験費	8,130,000		
講師料	4,000,000		
会員管理業務費	980,000		
研修事業費	2,400,000		
会報誌費用	1,000,000		
受講料充当額(受取寄付金取り崩し)	3,500,000		
システム開発費用	750,000		
支部設立費 *2	300,000		
支部運営費 *2	487,500	21,547,500	
事業費計			21,547,500
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	9,600,000	9,600,000	
人件費計			
(2)その他経費			
印刷製本費	50,000		
旅費交通費	260,000		
広告宣伝費	100,000		
消耗品費	100,000		
諸会費	70,000		
支払手数料	300,000		
通信費	30,000		
雑費	50,000		
租税公課	550		
その他経費計		960,550	
管理費計			10,560,550
経常費用計			32,108,050
当期一般正味財産増減額			1,392,310
前期繰越一般正味財産増減額			27,506,642
次期繰越一般正味財産増減額			28,898,952
指定正味財産増減の部			
I 受取寄付金			0
II 一般正味財産への振替額			△ 3,500,000
当期指定正味財産増減額			△ 3,500,000
前期繰越指定正味財産増減額			4,250,080
次期繰越指定正味財産増減額			750,080
当期正味財産増減額			-2,107,690
前期繰越正味財産額			31,756,722
次期繰越正味財産額			29,649,032

*1 2023年度新規入会者数見込 190名 入会金@5,000円×190=950,000円、会費@7,000円×190=1,330,000円

2023年度継続会員数見込 842名(うち2名一般会員) 会費@7,000円×840+20,000=5,900,000円

*2 設立基金300,000円(2期目) 運営費487,500円(500円×975名)

*3 2023年度受験者数見込340名(うち再受験者10%) 一次試験@11,000円×70=770,000円

二次試験料@27,500円×240=6,600,000円 @13,750円×30名=412,500円

(単位:円)

科目	金額			前年 実績比
	2022年度予算	2022年度実績	2023年度予算	
一般正味財産増減の部				
I 経常収益				
1 受取会費				
受取入会金	900,000	915,000	950,000	104%
正会員受取会費	6,310,000	5,897,000	7,230,000	123%
2 受取寄付金等				
受取寄付金(指定正味財産からの振替)	3,000,000	2,877,360	3,500,000	122%
支部設立金・支部運営金	673,500	413,000	787,500	191%
3 事業収益				
受験料収入	7,700,000	8,566,250	7,782,500	91%
受講料収入(EAPメンタルヘルス教育事業)	12,000,000	12,126,820	12,600,000	104%
カウンセリング収入	900,000	518,100	550,000	106%
4 その他収益				
雑収入	100,000	96,800	100,000	103%
受取利息	300	355	360	101%
経常収益計	31,583,800	31,410,685	33,500,360	107%
II 経常費用				
1 事業費				
資格認定試験費	7,200,000	8,130,510	8,130,000	100%
講師料	3,000,000	4,006,052	4,000,000	100%
会員管理業務費	800,000	756,169	980,000	130%
研修事業費	1,800,000	2,374,214	2,400,000	101%
会報誌費用	1,000,000	982,459	1,000,000	102%
受講料充当額(受取寄付金取り崩し)	3,000,000	2,877,360	3,500,000	122%
システム開発費用	1,000,000	421,267	750,000	178%
支部設立費	300,000	0	300,000	#DIV/0!
支部運営費(@500円)	373,500	413,000	487,500	118%
事業費計	18,473,500	19,961,031	21,547,500	108%
2 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	6,000,000	6,962,734	9,600,000	138%
(2) その他経費				
採用費		148,500	0	
印刷製本費	50,000	31,549	50,000	158%
旅費交通費	200,000	258,704	260,000	101%
広告宣伝費	200,000	85,060	100,000	118%
消耗品費	200,000	81,706	100,000	122%
諸会費	70,000	36,000	70,000	194%
支払手数料	300,000	276,502	300,000	108%
通信費	30,000	7,968	30,000	377%
雑費	50,000	22,483	50,000	222%
租税公課	50	553	550	99%
管理費計	7,100,050	7,911,759	10,560,550	133%
経常費用計	25,573,550	27,872,790	32,108,050	115%
当期一般正味財産増減額	6,010,250	3,537,895	1,392,310	39%
前期繰越一般正味財産増減額	23,968,747	23,968,747	27,506,642	115%
次期繰越一般正味財産増減額	29,978,997	27,506,642	28,898,952	105%
指定正味財産増減の部				
I 受取寄付金	0	0	0	#DIV/0!
II 一般正味財産への振替額	△ 3,000,000	△ 2,877,360	△ 3,500,000	122%
当期指定正味財産増減額	△ 3,000,000	△ 2,877,360	△ 3,500,000	122%
前期繰越指定正味財産増減額	7,127,440	7,127,440	4,250,080	60%
次期繰越指定正味財産増減額	4,127,440	4,250,080	750,080	18%
次期繰越正味財産額	34,106,437	31,756,722	29,649,032	93%

第3号議案 定款一部変更の件

現行定款の一部を次のとおり改めたいと存じます。

1. 変更の理由

現行の定款において総会が成立するには、委任状も含め過半数の出席が必要ですが、当協会を構成する正会員の増加により、総会の開催に必要な定足数の確保が難しくなっております。今後の総会の円滑な開催、遂行を目的とし、当協会の現状に即し、第27条【総会の定足数】に一部変更を加えるものです。

2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりです。

(下線_____は変更部分です)

現行定款	変更案
第4章 会議 第27条【総会の定足数】 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。	第4章 会議 第27条【総会の定足数】 総会は、正会員総数の <u>3</u> 分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

※補足資料 【総会の定足数】の過去充足状況

回	正会員数	出席者数 (委任状含む)	出席率 (委任状含む)
第9回 2022.6.12 オンライン開催	985	524	53.2%
第8回 2021.6.13 オンライン開催	785	428	54.5%
第7回 2020.6.14 オンライン開催	517	373	72.1%
第6回 2019.6.9 会場開催	474	303	63.9%

以上